

学術院共通専門基盤科目

学術院共通専門基盤科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAA1101	法文献学	1	1.0	1・2	春A	集中	大淵 真喜子, 川田 琢之, 栗原 克文, 小林 和子, 潮海 久雄, 平山 賢太郎, 山中 利晃, 渡邊 絹子, 本田 光宏	本講義では、法令・判例・文献のリサーチ方法およびリサーチに必要な基本的な知識を正確に身に付けることができるよう、各ツールを比較・評価しながら例題を混ぜて講義する。リサーチのほか、先行研究の引用作法についても解説する。	実施日程：4/2, 3, 4：7・8限、4/6：3～6限 01LA001と同一。 4/2, 4/3, 4/4, 4/6 オンライン(同時双方向型)
OAA1102	ビジネス法入門	1	1.0	1・2	秋C春季休業中	応談	大淵 真喜子, 岡本 裕樹, 小林 和子, 潮海 久雄, 平山 賢太郎, 藤澤 尚江	ビジネスをはじめとした多様な社会現象から解決されるべき法的課題を発見・設定して、自らの視点で研究を遂行する基礎となる。法的専門知識と思考方法の基本及び研究作法を体得する。	開講日時は決定後、在学生サイトへ掲示します。 01LA005と同一。
OAA1501	トップレクチャーI	1	1.0	1・2				民間企業、教育・研究機関、官公庁、国際機関等のトップ・マネジャーを講師に迎えて、現実の企業や社会システムにおける諸問題の解決方法やトップマネジメント戦略の構築並びに実践方法などについての講義を行う。 他授業や研究活動において修得した学術的な知識や知見と、本講義で提示されるトップ・マネジャーの現場からの知識や経験を高度に融合させることで、自らの多角的な思考能力や問題発見・解決能力を涵養することが期待される。	非常勤講師。 西暦偶数年度開講。 01KA101と同一。 2025年度開講せず。
OAA1502	トップレクチャーII	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		トップレクチャーIに続いて、民間企業、教育・研究機関、官公庁、国際機関等のトップ・マネジャーを講師に迎えて、現実の企業や社会システムにおける諸問題の解決方法やトップマネジメント戦略の構築並びに実践方法などについての講義を行う。 他授業や研究活動において修得した学術的な知識や知見と、本講義で提示されるトップ・マネジャーの現場からの知識や経験を高度に融合させることで、自らの多角的な思考能力や問題発見・解決能力を涵養することが期待される。 詳細確定次第、在学生向けサイト（ https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/ ）でお知らせします。	非常勤講師。 西暦奇数年度開講。 01KA102と同一。 対面
OAA3003	言語対照論	1	1.0	1・2				多様性と普遍性の観点から言語を対照することによって、言語間の違い、個別言語の深層を探る手法を考える。	西暦偶数年度開講。 対面
OAA3005	文献資料学	1	1.0	1・2	春C	火5, 6	秋山 学, 馬場 美佳, 吉森 佳奈子, 稀代 麻也子, 茂野 智大	文学作品を研究するさいの基礎となる文献資料の扱い方について講義を行う。	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型) 担当者によって、オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)。
OAA3008	現代文化学基礎I	1	1.0	1	春AB	月2	対馬 美千子, 廣瀬 浩司, 江藤 光紀, 濱田 真, 山口 恵里子, 山口 有梨沙, 相馬 尚之	この授業は現代文化研究に不可欠の「トピック」を設定し、旧来の方法論を総合人間学の視点から批判的に問い直し、新たな研究領域と価値を切り開く能力を養成することを目的としている。授業は現代文化学サブプログラム担当教員によるオムニバス形式(全10回)で実施する。諸条件が複雑に絡み合う現代文化を深く研究するために不可欠となっている協働研究の状況にも触れる。受講者には全授業の最後にレポートの提出が求められる。	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
OAA3009	現代文化学基礎II	1	1.0	1	秋AB	月2	竹谷 悦子, 宮崎 和夫, 馬籠 清子, 佐藤 嘉幸, 飯田 賢穂, 茅野 大樹, 阿部 幸大	この授業は現代文化研究に不可欠の「トピック」を設定し、具体例を多様な角度から分析し、そこに生じる問題の創造的解決の能力と新たな知・価値を創造する力を養成することを目的としている。授業は現代文化学サブプログラム担当教員によるオムニバス形式(全10回)で実施する。諸条件が複雑に絡み合う現代文化を深く研究するために不可欠となっている協働研究の状況にも触れる。受講者には全授業の最後にレポートの提出が求められる。	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
OAA3010	国際公共政策論	1	1.0	1・2	春AB	水2	ウラノ エジソン, ヨシアキ, 柏木 健一, 鈴木 創, 五十嵐 泰正, 木山 幸輔, 寺内 大左, 鈴木 彩加, 東野 篤子, 蔡 芸琦, 塩谷 哲史	国際的価値の実現と国内的価値の保護との葛藤という現実的な課題に社会科学の立場から深く取り組み、国際社会における普遍的価値の理解を踏まえ、国際的な公共の利益に資するための最適な処方や有意義な提言を行うための思考力や研究能力を養成する。特に、政治学、社会学、文化人類学、国際関係論、法学、政治経済学の分析視角から公共政策の実践と参画について深く考察する。	授業形式はシラバスの「その他」欄で確認してください。

OAA3011	日本政治と市民社会1	1	1.0	1・2				日本の政治や市民社会に関する日本語の文献を広く講読し、その内容を深く理解するとともに、社会科学における研究の方法等を修得する。とりわけ、比較という視座から日本の市民社会を相対化して捉えられるようになることを目指す。この授業では、市民社会に関する幅広い題材を取り扱う。	教室は人社A316 西暦偶数年度開講。 01DR490と同一。 対面
OAA3012	Japan's Politics and Civil Society 1	1	1.0	1・2				日本の政治や市民社会に関する英語の文献を広く講読し、その内容を深く理解するとともに、社会科学における研究の方法等を修得する。とりわけ、比較という視座から日本の市民社会を相対化して捉えられるようになることを目指す。この授業では、市民社会に関する幅広い題材を取り扱う。	西暦偶数年度開講。 01DR491と同一。 英語で授業。 オンライン(対面併用型)
OAA3015	地域研究論	1	1.0	1・2	春AB	水1	塩谷 哲史, 臼山利信, ダダバエフ ティムール, ウラノ エジソン ヨシアキ, 茅根 由佳, 外山 文子, 毛利 亜樹, 東野 篤子, 柏木 健一	世界の諸地域の特質とともに地域を解明する枠組み等について、人文・社会科学の視点からアプローチし、地域研究の在り方をオムニバス講義を通して学ぶ。また、ラテンアメリカ、東アジア、東南アジア・オセアニア、ロシア・ユーラシア、中東、アフリカを含む世界各地域を、政治学、経済学、歴史学、地理学、言語学等の分析視角から総合的・学際的に理解することを目指す。	オンライン(同時双方向型) 授業形式はシラバスの「その他」欄で確認してください。
OAA3016	経済開発論	1	1.0	1・2	秋AB	金4	柏木 健一	本講義では、開発経済学の主要理論とアプローチについて説明し、発展途上国の経済発展における諸課題について概説することを目的とする。特に、開発の概念、構造変化、経済成長、貧困と不平等の問題等を扱う。経済発展の諸理論やモデルを学ぶことで、学生が開発経済学への理解を深めるとともに、発展途上国の経済発展に関する分析において、興味深い問題設定を行えるようになることを目指す。	英語で授業。 オンライン(対面併用型) Economic Development (経済開発論) (OAVA313) と同一
OAA3017	ストラテジック・コミュニケーションズ	4	1.0	1・2	秋BC	集中	谷口 智彦	ストラテジック・コミュニケーションズ (StratCom) とは何か。企業広報、一般のパブリック・リレーションズ (PR) とどう重なり何が異なるのか。本講義は、米英の、とりわけ軍事組織で発達を見たStratComの概念を講じるとともに、参加者のおのおのが属す組織でどう実践すべきか考える機会を与えようとする。 次に、個人がいかにすれば効果的な発信者となり得るかを掘り下げ、すぐにも実行に移せる方途を探る。講師は故安倍晋三元総理の外交政策スピーチライターとして通算15年、麻生太郎元総理・外相のスピーチライターとしてほぼ同様の期間、従事した。この経験に基づき、本講義はまた、スピーチをつくるとはいかなること、どうすれば実践力を養えるか伝授しようとする。講師が政策研究大学院大学 (GRIPS) で長年各省官吏達に講じてきた講義を発展させるものとなる。指導者の発言、演説は、危機におけるStratComの成否を左右するゆえに、重要である。 課題の実行と発表機会を多く伴う。	東京キャンパスで実施 対面 7-8限 開講日程調整中
OAA3018	哲学プラクティス	2	1.0	1	春AB	金3	太田 紘史	哲学は根源的な問いに向き合う学問であるだけでなく、あらゆる問題圏と接しうる汎用的な思考法でもある。本科目では、毎回異なる話題をとりあげながら、そこに潜む様々な根源的な問いを取り出し、それに対する思考を深めるトレーニングを行う。授業中は、自身の思考を言語化して明確化するとともに、他者の言葉を通じて自身の思考を吟味できるよう、対話とディスカッションによる演習を繰り返す。	OAA3001/OAA3002履修者は履修不可 オンライン(同時双方向型)